



# 南防火協会たより

第10号

2023年(令和5年)10月1日  
発行責任者: 篠原 憲二  
編集: 南防火協会企画広報部



## 『けしたかな ぼくがかくにん もういちど』

### 2023年度(令和5年度)南防火協会防火標語



南防火協会では、火災予防思想の普及を図るため、広く地域住民から「火の用心」をテーマに防火・防災に関する標語の募集を行っています。

2023年度(令和5年度)の防火標語に南消防署管内の小学校を中心に3,238点の応募があり、審査の結果、福山市立南小学校1年生の富永湊祐(とみなが そうすけ)さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

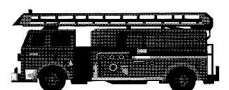
2022年(令和4年)12月7日(水)、同小学校で行われた表彰式では、篠原南防火協会会長から賞状と記念品が授与されました。富永湊祐さんは、「火事は怖いし、みんなの命が消えてなくなるのは悲しいので考えました。」と話していました。

また、最優秀賞の富永湊祐さんの作品のほか優秀賞3点、佳作10点については、各支部長さんに表彰伝達を行っていただきました。最優秀賞に選ばれた防火標語は2023年度(令和5年度)福山市南防火協会の防火標語としていろいろな場面で活用していきます。

### 2023年度(令和5年度)南防火協会防火標語

|       |                             |        |     |         |         |
|-------|-----------------------------|--------|-----|---------|---------|
| 最優秀賞  | 「けしたかな ぼくがかくにん もういちど」       | 南小学校   | 1年生 | とみなが 富永 | そうすけ 湊祐 |
| 優 秀 賞 | 「火を使う 必要なのは 責任感」            | 箕島小学校  | 6年生 | まるやま 丸山 | ひろと 寛人  |
|       | 「気をつけよう はじめはすべて 小さな火」       | 川口小学校  | 6年生 | しみず 清水  | まさや 雅也  |
|       | 「ぼくたちが めざす未来は 火災ゼロ」         | 川口小学校  | 3年生 | いちむら 市村 | わたる 渉   |
| 佳 作   | 「ひのこわさ してまなんで かじゼロへ」        | 多治米小学校 | 1年生 | みずぐち 溝口 | かんな 菜那  |
|       | 「火のつけた あなたのせきにん さいごまで」      | 川口東小学校 | 4年生 | ふじい 藤井  | きな 希奈   |
|       | 「おでかけまえに 火のかくにん 毎日できたら金メダル」 | 南小学校   | 3年生 | さとう 佐藤  | らら 彩花   |
|       | 「火で遊ぶ 小さいいたすら 大きなあやまち」      | 西小学校   | 4年生 | ふるいし 古石 | いっ 一稀   |
|       | 「火の用心 どこかで火の粉 かくれんぼ」        | 多治米小学校 | 5年生 | ふくしま 福島 | きん 彩生   |
|       | 「コンセント ほこりためると 火事の元」        | 川口小学校  | 6年生 | あらい 荒井  | しゅうご 翔吾 |
|       | 「火の始末 心の警報 つけたまま」           | 川口東小学校 | 6年生 | きしだ 岸田  | ひな 妃奈   |
|       | 「火遊びで 失うものと 背負う過去」          | 水呑小学校  | 6年生 | あさり 浅利  | あおい 葵依  |
|       | 「防火で守ろう 自分の命と みんなの命」        | 西小学校   | 4年生 | はらだ 原田  | あらた 新太  |
|       | 「気を付けよう 一人一人が 消防士」          | 瀬戸小学校  | 3年生 | よしはら 吉原 | あのん 彩乃  |

推進テーマ 「地域連帯で 防火の輪」



## 2022年度（令和4年度）南防火協会視察研修

2022年（令和4年）11月19日（土）、3年ぶりとなる視察研修を行いました。

視察研修先の「いわくに消防防災センター」は、地震をはじめ河川の氾濫等、災害特性を踏まえた防災対策について、視て体験して学ぶことができる施設でした。参加者は28人でした。

地震の揺れを再現する施設では、実際に過去に起きた地震の揺れを体験することができました。

震度7の地震では、机にしがみ付いていないと体を支えるのが困難でした。

このような激しい地震に遭遇した際には多くのことはできませんが、命を守るために何ができるかを考えるきっかけとなったと思います。

煙避難体験では、煙が充満している部屋から出口までの避難を想定した体験を行いました。

まずは低い姿勢で避難すること。ドアノブが熱くなっている場合があること。延焼を防ぐためには扉を閉めることなどを学びました。視界が悪い状況では落ち着いて行動することが難しいですが、避難時の行動のポイントを改めて確認することができました。

消火体験では、延焼している炎の映像に合わせて水消火器を使って消火体験を行いました。ここでは皆さん落ち着いて消火器を使用することができていました。

他には防災シアターがあって、洪水や土砂災害などを立体的な映像で見て学ぶことができました。

今回の研修では、特に地震の最初の揺れの際に生き延びるため、家具などの下敷きにならないように日頃から備えをしておくことも重要な対策の一つだと感じました。

日帰りの研修でしたが、視察研修に参加された皆さんが、この研修で学んだことを各支部に持ち帰っていただくことで、災害発生時に地域における災害対応力の向上に繋がると思います。

